

札幌 市民防災

第20号

平成31年3月31日
札幌市民防災団体連合会

発行責任者 田畑 隆二

平成30年度札幌市防災表彰式 札幌市自主防災講演会

平成31年1月15日（火）中央区センチュリーロイヤルホテルに於て「平成30年度札幌市民防災表彰式」及び当会と札幌市共催による「札幌市自主防災講演会」が秋元市長ご出席のもと盛大に開催されました。秋元市長から地域における自主的な防災活動に貢献した町内会などを表彰するもので平成11年度から行っており、本日受賞された11団体（個人受賞1名）は自主防災活動に熱心に取り組み、地域の安心、安全を守っていただいていることに心から感謝申し上げるとのねぎらいのお言葉を頂きました。

会員団体の皆様の更なるご協力をお願いします。



「もしもの時の備えの大切さ」

札幌市民防災団体連合会 会長 田畑 隆二

平成30年は、台風による災害や地震による大きな災害が発生した1年でした。

日頃より地域防災活動をされている会員の皆様も、改めて災害に対する活動の大切さを認識された事と思います。

特に胆振東部地震による全道ブラックアウトという、初めての体験は災害に対する日頃の危機意識が課題になった出来事でした。災害に備えての家庭での備蓄品の管理や避難場所に避難する際の行動等、今後の地域での防災活動に大変参考に成りました。

当会のこれからの重点活動として、基幹避難場所運営マニュアルの作成や家庭内での防災意識の向上の為、日頃の防災啓蒙活動の情報収集・発信をして行きたいと思います。

今年も、委員皆様と防災活動の推進を進めて参りますのでご協力をお願い致します。

平成30年度 札幌市防災表彰式

受賞団体出席者

中央区	南円山旭ヶ丘南町内会	会 長	林田 忠 氏
北 区	屯田連合町内会	会 長	坂田 文正 氏
東 区	栄東連合町内会	会 長	永渕 宏 氏
白石区	東札幌町内連合会	副会 長	吉川 勝男 氏
厚別区	あおば福祉推進協議会	会 長	松山 瑞穂 氏
豊平区	月寒地区町内会連合会	会 長	池田 博 氏
清田区	清田地区町内会連合会	会 長	牧野 晃 氏
南 区			時本 榮二 氏
西 区	八軒中央連合町内会	会 長	石井 光郎 氏
西 区	宮の沢町内会	副会 長	中川 和彦 氏
手稲区	暁星第三町内回	会 長	竹田 幸雄 氏



自主防災講演会

共催（札幌市、札幌市民防災団体連合会）

自主防災活動を推進するため、市民の模範になる活動を行った自主防災組織等を市長表彰により毎年顕彰するとともに、巨大地震等の大規模災害に備えて、防災、減災に関連する内容の講演を通じ、市民一人ひとりが何をすべきか（自助）、地域ぐるみを何をすべきか（共助）など、地域における自主防災活動の取り組みになお一層推進する契機とすることを目的に自主防災講演会を開催しました。

当日は200数十人をこえる出席者で河田恵昭氏の熱弁に耳を傾けておりました。今後の災害対応について大変参考になる講演会でした。

講 演：「巨大災害は大都市で必ず起こる！

～国難災害から見る防災・減災・縮災とは～

講 師：関西大学 理事 社会安全研究センター長 特別任命教授

河 田 恵 昭（かわたよしあき）氏





『私たちの防災活動は始まったばかり』

宮の沢町内会 副会長 中川 和彦

宮の沢町内会の防災活動は土砂災害発生の危険が生じた場合、要支援者を如何に早く避難所にお連れするかという土砂災害に特化した活動です。活動開始から2年を経過し既にデータベースで要支援者166名、支援協力者339名の登録が完了し緊急連絡は一斉メールで216件、一斉FAXで261件をパソコンから発信が可能であり、ネット網構築がこの活動の最大の特色です。避難誘導DID研修、避難所運営HUG研修を役員と重点地域に分けて実施し、町内会のホームページや紙ベースによる広報宮の沢を発行し、新聞や西区ホームページなどの媒体を利用して地域内の住民に周知を重ね、数度にわたり避難手順説明会を開催し昨年10月に初の避難訓練にいたしました。本年度は地域内の医療と介護事業所、地域包括支援センターなども加わり連絡協議会を設立し災害時専門家としての協力を得るとともに機関誌発行やセミナー開催により日常生活に活かすことが期待できます。土砂災害はこの地域に住む以上は避けて通れない問題です。今後も焦らず息の長い活動を継続して行きます。



今後も機関誌発行やセミナー開催により日常生活に活かすことが期待できます。土砂災害はこの地域に住む以上は避けて通れない問題です。今後も焦らず息の長い活動を継続して行きます。



実践的な防災活動に向けて

暁星第三町内会 会長 竹田 幸雄

このたびは、札幌市防災表彰ありがとうございました。当町内会は、手稲山に面した傾斜地に位置し、一部が土石流危険溪流（氾濫）区域に指定されているため、日頃から土砂崩れや河川氾濫に備える必要がありました。また、全国的にも2011年の東日本大震災以降、大地震や豪雨災害が毎年発生していることから、私たちが暮らす町内でも4年前から、「参加しやすく、少しでも実践的」な自主防災を目指した実地要領作成に着手し、3年連続の避難訓練や防災講習会を実施してきました。しかし、災害はいつ起こるか分かりません。今後も総合訓練にチャレンジしながら避難訓練を基本に情報連絡通信、消火、給食給水訓練などを組み合わせながら、自主防災活動を継続することにより、町内会住民の自助、共助や防災意識の向上、その相乗効果により町内会活動を活性化させていきますので、引き続き手稲区役所をはじめ関係機関の皆様のご指導よろしくお願いたします。



今後も総合訓練にチャレンジしながら避難訓練を基本に情報連絡通信、消火、給食給水訓練などを組み合わせながら、自主防災活動を継続することにより、町内会住民の自助、共助や防災意識の向上、その相乗効果により町内会活動を活性化させていきますので、引き続き手稲区役所をはじめ関係機関の皆様のご指導よろしくお願いたします。



地域防災への意識向上にむけて

月寒地区町内会連合会 会長 池田 博

このたび札幌市防災表彰団体に選出されたこと大変光栄に存じます。昨年9月6日未明に、厚真町で震度7、札幌市でも震度6弱を記録する北海道胆振東部地震に見舞われました。被災された皆様にお見舞い申し上げます。月寒地区町内会連合会では、「安全安心な地域づくり」を進めるため、震災から1か月後の10月6日に、大震災の発生を想定した防災訓練を、地区内の町内会や関係機関と共同で実施しました。震災直後ということもあり、スタッフを含め200名を超える方が参加し、日ごろの訓練や備えの重要性を再確認しました。

月寒地区には、「月寒断層による地震の発生」や「望月寒川などによる洪水の発生」などのリスクがあります。月寒地区町内会連合会としても、地区の皆様方の防災に対する意識の向上を図るとともに、地域防災力をより一層高める取組を進めてまいりますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いたします。



平成30年度 札幌市防災教育セミナー

防災教育の取組をより一層推進する契機とすることを目的に、防災教育活動に非常に熱心に取り組まれてきた講師をお招きし、防災教育の最前線に立つ教職員をはじめ、地域の防災関係者を対象としてセミナーを、危機管理対策室・教育委員会の共催で実施しました。

平成31年1月7日(月) 13:30~16:30、札幌市コンベンションセンター2階小ホールにて開催。

【第1部】『「ともに生きるということ」を考える』

南三陸町立歌津中学校 主幹教諭 佐藤 公浩 様

【第2部】『防災教育といじめ抑止教育』

仙台市東中田市民センター兼児童館 館長 高橋 教義 様

【第3部】『災害と向き合う』

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 特任教授 諏訪 清二 様

避難所基本見直し検討委員会

第一回 30年8月2日 第二回 31年1月28日 第三回 2月28日 第四回 3月22日

東日本大震災の教訓を踏まえ平成25年3月に札幌市避難場所基本計画を策定いたしました。策定以降、熊本地震等での課題を踏まえた備蓄物資の品目・数量の見直しや新たな対策の検討などが必要となったことから、札幌市避難場所基本計画見直し検討委員会を設置し、検討を進めております。

平成30年8月に開催した第1回委員会に引き続き、第2階札幌市避難場所基本計画見直し検討委員会を1月28日に開催しました。



第1回目



第2回目

編 集 後 記

30年9月6日胆振東部大地震が発生して半年を迎えますが、未だ多くの被災にあわれた方々がご不自由な生活を送っておられますが、東部と一連の活動とみなれる大きな地震が2月21日午後9時22分ごろ再度M5.8胆振が発生し札幌市では帰宅困難者が足止めされたため、市では中央区の札幌駅前通り、地下歩行空間と市民交流プラザを開放し、帰宅困難者を受け入れましたが、夜間寒い冬で足止めされハイヤーを待つ時間が長く家路を忙く市民にとっては初めての体験でした。今後、市民が安心して生活出来るように、行政市民が一体となって考えていかなければならない点ではないでしょうか。

総会を5月開催しておりますので多くの方々のご出席お待ちしております。日程決まり次第お知らせします。又今日受賞された方々にはご入会をお願いします。

副会長 広報部長 渡辺 恵美子 FAX・TEL 011-851-9583番

印刷所 北晃社 斎加印刷所
札幌市西区八軒1条東5丁目
電話 011(631)1271